

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疾病治療論Ⅱ		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
保坂 稔	教員控室	kango	授業終了後に質問等受付		
授業の目的・概要	疾病の特徴、病態生理を理解し臨床で活用できる知識を獲得することを目標とする。この科目では消化器系、血液造血器系において主要な疾患の理解を深めるとともに疾患に対する考え方、診断法、治療法について学習する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	解剖、生理学が基礎になります。このことを念頭に予習復習を行うことで効率的な学習ができます。教科書を熟読して講義に臨むと理解が進みます。				
教科書	・専門分野Ⅱ 成人看護④ 血液・造血器 (系統看護学講座) 医学書院 ・専門分野Ⅱ 成人看護⑤ 消化器 (系統看護学講座) 医学書院				
参考書	ハリソン内科学/メディカル・サイエンス・インターナショナル				
外部教材					
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	臨床的に重要な疾患についての基本的な知識と考え方を理解し、説明できる				
②	新たな事象に遭遇したとき考察して問題を解決する能力を身につける				
③					
④					
⑤					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	疾病治療論Ⅱの初めにあたり 消化器(1) 消化管の構造と機能	講義	疾病治療論を学ぶ意義を理解し、次回の講義範囲を予習する		
2	消化器(1) 消化管の構造と機能	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
3	消化器(2) 症状とその病態	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
4	消化器(3) 検査と治療①	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
5	消化器(4) 検査と治療②	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
6	消化器(5) 疾患の理解① 消化管疾患など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
7	消化器(6) 疾患の理解② 肝臓疾患など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
8	消化器(7) 疾患の理解③ 胆・膵疾患など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
9	血液・造血器(1) 血液の生理と造血の仕組み	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
10	血液・造血器(2) 症候・病態生理	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
11	血液・造血器(3) 検査・診断	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
12	血液・造血器(4) 疾患と治療の理解① 赤血球・白血球系異常など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
13	血液・造血器(5) 疾患と治療の理解② 造血器腫瘍など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
14	血液・造血器(6) 疾患と治療の理解③ 出血性疾患など	講義	前回の講義内容を復習し、次回の講義範囲を予習する		
15	これまでの学習の総括	講義	疾病治療論Ⅱで学んだ講義内容全般を復習する		
試	達成度評価(評価のポイントを参照)				

【専門科目領域/専門基礎科目群/人間の構造や機能と疾病の成り立ち】

達成度評価							
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		100	0	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	80	0	0	0	0	80
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
問題を見発見・解決する力		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験は講義全体に関して実施する				試験問題について講義の内容を踏まえて解説する。必要に応じてフィードバックの時間をしっかり確保する。
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他担当教員	吉岡睦世(本科目における連絡・調整を行う)						
教員の実務経験	臨床医として40年の経験を有する。						
実践的授業の内容	授業は通信容量が無制限のWi-Fi環境を推奨する。ときには実臨床からの疾患を例示しての授業を構成する。						
その他	新型コロナウイルスのまん延状況になどの社会情勢によって、シラバスは再度変更される可能性がある。						